

令和3年度第2回審議会 意見聴取シート（委員から出された意見一覧）

令和3年度第1回審議会に出された意見		
連携の種類 (組み合わせのかたち)	連携していること・連携が必要なこと【連携テーマ】	連携先の例
地域×地域	<p>①大雨の時に、浸水しやすい地域の方と、浸水の心配のない地域で、情報交換や、困ったときの窓口などの相談ができれば、コロナなどの難しい対応に一助にならないだろうか。【防災】</p> <p>②近隣地区と連携して避難所になっている中学校に防災備蓄や避難等をする。【防災】</p> <p>③どの行政区でも安心して避難できる対応ができるように共有できるようにする。【防災】</p> <p>④新しいゴミ集積所を隣接区と共同で購入。【環境衛生・環境美化】</p> <p>⑤町内各所でフラワーロードに取組み町全体を花の町に。【環境衛生・環境美化】</p> <p>⑥機械による除草作業を近隣地区の住民とも連携して行う。【環境衛生・環境美化】</p> <p>⑦各自治会で連携し子どもの見守りをする。【子ども】</p> <p>⑧行政区毎に住民の人口や年齢層が違うので、高齢化の顕著な行政区は、隣の行政区と連携して、様々な計画を合同で行うしくみをつくる。【情報共有】</p> <p>⑨企業や大学、行政へ苦言や提言がある場合など地域の悩みを、同じ考えの地域と気軽に話しできる場や情報取得、相談もできるしくみをつくる。【情報共有】</p> <p>⑩地域づくり推進協議会（小学校区単位の町内会の連携）でふるさとまつりの開催や会報の発行をしている。ふるさと文化祭は保育園、幼稚園の発表の場になっている。【情報共有】</p>	

(意見記入欄)

<p>左記の連携のために必要となること、連携の障害となっていることは？</p> <p>左記の連携ができていない要因、さらに良くするために必要なことは？</p> <p>(志子田委員)</p> <p>【防災面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの活用のための地域住民への勉強会を定期的を開催する。《人材育成》 ・マイタイムライン等、家族用、地区用等作成し、災害時の協力体制を作る(弱者を考慮)(個人情報)。《体制整備》 <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団地内の道路等、道に関する景観に係る条例等で車・歩道をきちんとする(地域住民協力)。《体制整備》 ・ボランティア頼りも限度がある。場合によっては有償の考えも必要(人材不足解消)。《人材育成》《しくみづくり》 <p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種発信されているが、受信する側が目的をもって検索する。単位地域内での広報(昼夜の不在等)。《情報発信・共有》 ・最大の困りごとは「他人任せ」「無関心」→批評家になっている→当事者になってもらう(役員、世話役等の裏方に協力要請)。《意識向上》 <p>(阿部委員)</p> <p>○連携ができていない要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きっかけや働きかけがあること。連携先と話し合いの場を持つことが出来ている。《しくみづくり》《場づくり》 ・住民の差し迫った要望により、区長が働きかけを行う(誰が何をすべきかが明確な事)。《体制整備》 <p>○連携のために必要となること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに対する住民の意識向上(住み心地の良い環境、地域は自分たちで作る)。《意識向上》 ・何らかの働きかけがあり、労せずに取り組める。《しくみづくり》 ・他の地域で何をしているか、何をしたいと思っているか又は、どんな困りごとがあるか情報を得ることが出来る(情報)。《しくみづくり》《情報発信・共有》 ・一歩踏み出すリーダーが居ること。《人材育成》 <p>○連携の障害となっていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりは誰かがやる、区長や区の役員、行政がやる事と思い、苦情しか言わない。《意識向上》 ・発想はあっても遠慮や気後れで声に出せない。《体制整備》《しくみづくり》《場づくり》 ・どこの誰に相談すべきか分からず、道筋を作れない。《体制整備》《しくみづくり》 ・窓口(区長、企業担当者、大学やその他の担当となる人)が話を聞かない、話しにくい。《人材育成》《意識向上》 ・行政への不信感、情報開示が不十分(都合の悪いことは開示されない)。《情報発信・共有》 <p>○さらに良くするために必要なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「居心地の良い歩きたくなる街へ」あなたにできることは何ですか(仙台市)住民の意識向上へ地道な働きかけ。《意識向上》 ・次のリーダーを育てる人材育成。《人材育成》 ・相談窓口があり、相談内容によってどの窓口へ行くかが分かりやすい。又は気軽に訪れることが出来る窓口であること。(住民目線で)《体制整備》《しくみづくり》 ・情報が住民みんなに伝わること 情報発信は受け取りやすさを工夫し、様々な形で発信する。《情報発信・共有》

令和3年度第2回審議会 意見聴取シート（委員から出された意見一覧）

令和3年度第1回審議会でも出された意見			(意見記入欄)
連携の種類 (組み合わせのかたち)	連携していること・連携が必要なこと【連携テーマ】	連携先の例	左記の連携のために必要となること、連携の障害となっていることは？ 左記の連携ができていない要因、さらに良くするために必要なことは？
			<p>有》 (佐藤委員) 【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の政策担当が、基本構想にのっとり、ハザードマップに基づき、これまでより避難地域を絞った内容とする。町全体に避難指示を出すのではなく、00丁目～00丁目の方避難・・。《しくみづくり》《情報発信・共有》 ・普段から個人的なレベルで避難先を作る様推奨する。行政レベルで個人的な避難先づくりは困難。《意識向上》《体制整備》 ・基本的には、町が指定した避難所以外設定は極めて限られる。その上での避難への種々の対応策が必要となる。《体制整備》《しくみづくり》 <p>(村山委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会の防災士が他の地区の防災士と情報交換し、町の防災関係機関と連携を図ることが必要。各地区は、その情報を住民に分かりやすく伝える。【①】《情報発信・共有》 ・町のメール、ラインの登録を進める。【①】《情報発信・共有》 ・備蓄は、大方完了した。避難については、更新した防災マップに掲載し、情報を提供。避難訓練については、中学校との連携が参加意識を高める可能性がある。【②】《情報発信・共有》 ・防災士、自主防災組織、消防団間で例えば小学校区等でグループを作り、情報交換し情報を公開し、各町内会での活動の参考にする。グループのリーダー、コーディネーター、情報交換できる環境が必要。【③】《情報発信・共有》 ・近隣地区との協議、交流が必要。【⑥】《しくみづくり》《場づくり》 ・現在、活動している自治会の見守り隊間の交流や交通指導隊による研修。その活動を広報し、各自治会に広めることが必要。見守り活動への関心や重要性、担い手の減少が障害。【⑦】《人材育成》 ・地域づくり推進協議会の担い手の高齢化、減少が課題。貴重な地域交流の場として、参加者層に合わせた行事や参加の方法等も工夫することが必要。【⑩】《しくみづくり》 <p>(大庭委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練や災害協定。【①】《体制整備》 ・中学校の防災学習や学校連携として学校行事に地域も一緒に行く。(従来だと、地域行事日程を優先しているので学校日程に地域が合われてみる試み)【②】《しくみづくり》 ・水害・地震を想定しての1次2次避難訓練(行政や社協等の出前講座の活用)【③】《場づくり》 ・地域づくり推進協議会を核として、こども食堂や地域食堂等の「みんなの居場所」を定期的に開催し世代間交流や元気高齢者の活躍場づくりをする。【⑩】《場づくり》 <p>(児玉委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各行政区の状況が不明なので、行政区毎の現在の状況把握ができるようなデータの公開をし、近くの行政区で区長、各部会の話し合いなどを経て共同(合同)ならできていることを検討する。【⑧】《場づくり》《情報発信・共有》 <p>【すでに実施していることなど、その他の意見】</p> <p>(大庭委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラワーロードのコンテスト(活動しているところや団体・企業・学校等をクローズアップ)。【⑤】 ・柴田小区(合同運動会・敬老会・ふるさとまつり)で行われている。【⑧】

令和3年度第2回審議会 意見聴取シート（委員から出された意見一覧）

令和3年度第1回審議会でも出された意見			（意見記入欄）
連携の種類 （組み合わせのかたち）	連携していること・連携が必要なこと【連携テーマ】	連携先の例	左記の連携のために必要となること、連携の障害となっていることは？ 左記の連携ができている要因、さらに良くするために必要なことは？
地域×地域内の団体 （地域内での連携）	①区のスポーツレクリエーションは例えばゲームは子ども会、スポーツは体育部、芋煮は防火クラブなどと連携して実施。【イベント】 ②火の用心は防火クラブと子ども会と連携。【防災】 ③公園除草は区役員及び有志とグランドゴルフ愛好会で実施。【環境衛生・環境美化】	子ども会、婦人防火クラブ、サークル など	・ゆるぶらで行われているのではないか。【④】 （志子田委員） 【イベント・防災】 ・学校関係に協力要請し、受け入れ地区団体が管理（行政区、育成会、子ども会等）（小、中、高、大等と）。《しくみづくり》 （村山委員） ・公園除草は、町内会で分担して一斉清掃日に実施し、地域交流の場としても機能。【③】《場づくり》 （大庭委員） ・地域活動が活発なので、高齢者の見守りや声掛け、ゴミ出し支援等への展開。地区行事に参加しない人へのゆるい促し活動。【①】《意識向上》 ・子ども会のない地区（船岡小地区）があるので、そういった地区は他の子ども関係の組織との連携が必要。【②】《体制整備》 【すでに実施していることなど、その他の意見】 （村山委員） ・公園除草活動参加賞で地区防災食を配布して試食での食品ローリング。【③】
地域×他団体 （企業・大学 等）	①「東北子ども博」のイベント会場を学外にも広げて、地域と大学の連携を深め、お年寄りから子どもまで参加して、楽しみながら健康づくりができるようなイベントに育てていく。【イベント】 ②町内会の集会所を利用した「子ども食堂」＋「学習支援」を大学（大学生など）の支援をもらいながら、月1回程度行う。【子ども】 ③大学生と意見交換し、できることなどを協議してみたい。【情報共有】 ④在宅の高齢者向けに大学生による健康体操を定期的に行う。【健康・福祉】 ⑤クリーン作戦として南光通りの落ち葉や枯れ枝の掃除をする。【環境衛生・環境美化】 ⑥災害時に高台にある工場内へ車の避難が受け入れ可能にする。防災についても隣接地区や工場、企業とも話し合い備えていく。【防災】 ⑦地域、管理会社、大学が連携し、大学生のゴミ捨てマナーや深夜路上での大声などは苦言だけではなく、マナー向上の意識付けをしていく。【環境衛生・環境美化】 ⑧避難所での生活を体験したり、避難所運営を具体的にどのように行うかを、社会福祉協議会と連携して実施する。【防災】 ⑨テーマ（例えば地域のイベント、困りごと、仲間づくり等）を決めて、座談会を定期的を開催する。興味関心が深まったテーマや状況を見て、参加者の中からコーディネーターを選任して、ゆるく活動を継続し、地域の連携を促す。【情報交換】	地域×大学 地域×企業 地域×社会福祉協議会 地域×ゆるぶら	（佐々木委員） ・「東北子ども博」について、今年はコロナ感染防止策として事前登録性にして準備を進めていたが、8月に緊急事態宣言が出されたことから、開催中止となってしまった。コロナが完全に終息するにはあと2～3年かかるともいわれており、地域と大学が連携するイベントにするには、効果的な感染対策が欠かせないと思う。【①】《体制整備》 ・「学習支援」を仙台大学の学生に求める場合、教員志望の学生も多くいるので、それらの学生を対象に声がけするのが望ましいだろう。【②】《しくみづくり》 ・「マナー向上」の問題は、学生も生活する地域社会の一員なのだという意識づけが必要で、そのためには学生と地域住民との交流の場があると良いのだが…。大学でも入学時のオリエンテーションなどで指導はしているが、学外での日常生活にまで目が行き届かないのが実情のようだ。【⑦】《意識向上》 （志子田委員） ・目的、目標を自分のものとして、情報の検索を行う（デジタル化に反対ではないが、まだまだアナログを活用している必要者がいる。弱者といわれている方々は訓練が必要。）。《意識向上》《情報発信・共有》 ・まず自分が一歩踏み出すことが連携のスタート。《意識向上》 （阿部委員） ○連携に至った経緯 ・さくら祭り時の町内おもてなし作戦の一環として、さくら祭り実行委員会（行政側）からの働きかけで始まった事です。企業も 社ではなく沿道の数社に及ぶことから、 行政区での働きかけは難しかったと思います。せっかく繋がった関係を、今後他の事にも活かせるように、発展させていく努力が必要と思います。【⑤】《しくみづくり》 （関委員） ・前提となる条件①個人の好きなこと、趣味のつながりが連携の条件。②行政区ごとの温度差が大きく、連携の前に整理すること。《意識向上》 （佐藤委員）

令和3年度第2回審議会 意見聴取シート（委員から出された意見一覧）

令和3年度第1回審議会でも出された意見		（意見記入欄）	
連携の種類 （組み合わせのかたち）	連携していること・連携が必要なこと【連携テーマ】	連携先の例	左記の連携のために必要となること、連携の障害となっていることは？ 左記の連携ができている要因、さらに良くするために必要なことは？
			<p>・仙台大学を主な提携先として、行政の中に専門に大学と協議・連携する機能を持つ組織づくりが必要と思う。《体制整備》《しくみづくり》 （村山委員）</p> <p>・大学生及び大学との意思疎通を図り、内容を検討し実施する。【④】《しくみづくり》</p> <p>・当町内会を例に挙げると、中学校までの避難訓練を兼ねて避難所での生活体験や避難所運営等についての研修を定期的実施する。中学校、社会福祉協議会、防災関連機関の協力が必要。住民の防災意識を高める。【⑧】《人材育成》《意識向上》《しくみづくり》</p> <p>・基点が必要。オンライン会議等の必要性を考える。テーマは、参加者の意思で決定し、リーダーやコーディネーターが育つようサポートする。座談会、その後の活動を見守るサポーターが必要。【⑨】《人材育成》 （大庭委員）</p> <p>・「こども博」はイベントとしてだけでなく、通年を通じて地域が学生のフィールドワークや研究データとして住民と連携、地域課題を学生が研究テーマとする。【①】《しくみづくり》</p> <p>・アフターコロナであれば、地域食堂としても可能。【②】《場づくり》</p> <p>・福祉課・スポーツ振興課で実施している。周知の仕方の工夫が必要。【④】《情報発信・共有》</p> <p>・地区と企業間の災害時の協定が必要。【⑥】《体制整備》《しくみづくり》</p> <p>・相互理解（顔の見える関係性）が必要。【⑦】《しくみづくり》</p> <p>・出前講座のメニューがあるので、アレンジをして実施が可能（こどもから高齢者までバリエーションあり）。避難所運営は町とも連携が必要であり、町、社協それぞれの出前講座メニューの中で、相互に連携が可能になっていればいい。【⑧】《しくみづくり》 （児玉委員）</p> <p>・コロナ禍のために、実現できずに時間が経過している。柴田町でも幾つかの子ども食堂が休止している。長期にわたって継続するためには、ボランティアの確保も重要だが、食材や材料費等を購入するための資金の確保が課題になる。合わせて、子どもたちの学習支援を仙台大学生や地元の大学生、高校生などをお願いするので、彼らへの昼食の提供、薄謝だがアルバイト代も検討したい。そのために、フリーマーケットの開催、募金活動も行ってはどうか。（ゆるぶらで常設してできるスペースを作り収益を各子ども食堂に配分する）【②】《人材育成》《場づくり》《資金》</p> <p>・行政区内では防災について、話し合い等がされているようなので、社会福祉協議会から避難所での体験や避難所運営についての学習会（プログラム）の提案をおねがいできると良いのではないかと。【⑧】《場づくり》</p> <p>【すでに実施していることなど、その他の意見】 （大庭委員）</p> <p>・ゆるぶらで2020年度に実施している。【③】</p> <p>・ゆるぶらで実施している。【⑨】</p>
地域を交えた多様な団体	<p>①「花のまち柴田植栽活動」【環境衛生・環境美化】</p> <p>②「花のまち柴田ラベンダー活動」【環境衛生・環境美化】</p> <p>③「ユニバーサル見学会」KAI HARADA展【健康・福祉】</p> <p>④「お元気ですか作戦」【健康・福祉】</p> <p>⑤仙台大生によるカフェとしてゆるぶらを活用し、地域の交流の場所とし</p>	<p>地域、行政、社会福祉協議会、商工会、小中学校、高校、大学、保育・児童施設、福祉団体・福祉施設、ボランティア</p>	<p>（佐々木委員）</p> <p>・「仙台大生によるカフェとしてゆるぶらを活用」については、運動栄養学科の学生が対象に考えられると思う。しかし「ゆるぶら」のある場所が大学から遠いのが気にかかる。以前意見として述べたように、大学の近くの以前焼き肉の「都」の跡地に「ゆるぶら」のような施設があれば、授業の空き時間に学生が交代でカフェを運営できるようになれば実現の可能性は高いと思う。【⑤】《場づくり》</p>

令和3年度第2回審議会 意見聴取シート（委員から出された意見一覧）

令和3年度第1回審議会でも出された意見			(意見記入欄)
連携の種類 (組み合わせのかたち)	連携していること・連携が必要なこと【連携テーマ】	連携先の例	左記の連携のために必要となること、連携の障害となっていることは？ 左記の連携ができている要因、さらに良くするために必要なことは？
	<p>てイメージアップを図る。【交流】</p> <p>⑥「男の居場所」「大人の社会見学」【交流】</p> <p>⑦集会所で餃子の皮から作る料理教室の開催【交流】</p> <p>⑧「農福連携」オリジナルメニュー開発、産直メニュー開発、地域交流事業、スイーツ開発。【健康・福祉】【農業・産業】</p> <p>⑨移住を計画している町と情報交換し、柴田町の移住を進める知恵を出す。【移住】</p>	<p>団体、企業、農家、商店、飲食店、自衛隊、太陽の村、まちづくり株式会社、留学生、他市町村など</p>	<p>(志子田委員)</p> <p>・仲間を増やす広報活動をする。《意識向上》《情報発信・共有》</p> <p>(阿部委員)</p> <p>・さらに良くするために・・・例えば、マナー違反の大学生に対し、地区ごとに様々な対応をしているが、犯人探しではなく育てることも地域の大人の役割だと思う。地域、大学、学生、行政などで連携しみんなが住みよい環境にしていけたらと思う。《意識向上》《しくみづくり》</p> <p>(関委員)</p> <p>・仙台大のカフェ構想について、その中にゆる..ぶら支店を併設し、町民の意見を吸い上げる。【⑤】《体制整備》</p> <p>・社協による出前講座を。《人材育成》《場づくり》</p> <p>(佐藤委員)</p> <p>・今後、種々の会議の中で具体的な協議内容を場集・議論する機会を設定すればよい。《場づくり》</p> <p>(村山委員)</p> <p>・柴田町内から行政区や町内会単位で取り組み、広げていく。お庭自慢等を町内会報に掲載したり、集会所での展覧会を開く。住民からの情報提供および承諾が必要。また地域間の会報を通じ地域交流できるとさらに花の町にふさわしい。【①】《しくみづくり》《情報発信・共有》</p> <p>・地域の見守り隊の人材の確保。継続すること。【④】《人材育成》</p> <p>・人が集まる週末に協力してくれる大学生が必要。【⑤】《意識向上》《しくみづくり》</p> <p>(大庭委員)</p> <p>・「オープンガーデン」だけをクローズアップするのではなく、地道に実施しているところもなんらかのかたちでとりあげてほしい。【①】《情報発信・共有》</p> <p>・船迫中学校が行っている活動を地域がもっと評価してあげるべき。【②】《しくみづくり》《情報発信・共有》</p> <p>・社協、ゆるぶら、学校支援コーディネーター（町生涯学習課）の中間支援同士が横でつながり情報共有を行っている。【②】《しくみづくり》《情報発信・共有》</p> <p>・イベントや文化祭・芸術展等文化活動もユニバーサルな視点を担当者が持ち、どんな人も受け入れられるようにする。【③】《意識向上》</p> <p>・場を広げる（まちづくり株式会社・ナルミキッチン・4区集会所・キャンパス内・コンビニ）ことが必要。【⑤】《場づくり》</p> <p>・高齢者疑似体験として「買い物やクッキング」。町内福祉施設等連絡協議会とのコラボで福祉施設見学や介護体験会を実施する。【⑥】《場づくり》</p> <p>・多文化共生として町と社協で「やさしい日本語講座」を実施する。【⑦】《場づくり》</p> <p>・仙台大学栄養学科とのコラボ、柴田農林高や大河原商業校とのコラボ、小学生から「夢のケーキコンテスト」イラスト募集し、町内パティシエが製作。【⑧】《場づくり》</p> <hr/> <p>【すでに実施していることなど、その他の意見】</p> <p>(志子田委員)</p> <p>・第17B 行政区では、お助け隊として行政区役員、有志で年間1～2回程度活動を行っている（本当に困っている方から依頼されたことを3時間程度で活動する。高齢者世帯が主な対象。）。</p> <p>1. 道路側の垣根処理等安全、安心に関すること</p>

令和3年度第2回審議会 意見聴取シート（委員から出された意見一覧）

令和3年度第1回審議会が出された意見			(意見記入欄)
連携の種類 (組み合わせのかたち)	連携していること・連携が必要なこと【連携テーマ】	連携先の例	左記の連携のために必要となること、連携の障害となっていることは？ 左記の連携ができている要因、さらに良くするために必要なことは？
			<p>1. 手に負えなくて困っている木々の処理等の相談、手当</p> <p>1. 住人も共に活動する</p> <p>1. 保険代等必要経費は出してもらう</p> <p>(阿部委員)</p> <p>・社会見学には「しばた100 選見してみよう」のバスツアーをお勧めします。町のことがいろいろ分かります。【⑥】</p> <p>・留学生を支援、又は日本文化を伝えている団体からの働きかけにより実現。毎年区のスポーツレクへ留学生を招待していることも要因としてある。【⑦】</p> <p>(関委員)</p> <p>・仙台大・柴田高にスポーツ指導を。</p> <p>・さくらマラソン大会を小中学生を巻き込んだ大会に(ゴール作業、給水所、案内等)。</p> <p>(大庭委員)</p> <p>・コロナ禍で高齢者が集まって活動できないので、地域の高齢者を元気づけるため、児童館や幼稚園の子どもたちがボランティアで「お元気ですか」カードを作り送付する活動を行っている。【④】</p>